

YMG看護部

感染管理研修 アンケート集計結果

☆ 研修日 : 平成 26年 9月 24日(水)

☆ 会場 : かわさき記念病院 1F講義室

☆ 講師 : 菊名記念病院

感染管理専任看護師 看護師長 森山 由紀 氏

☆ 目的 : 各施設における感染管理について、
具体的なことを考えることができる。

☆ 参加者 : 25名

(勤務場所別内訳)

・ 病院	18 名
・ 老健	5 名
・ その他	2 名

(職種別内訳)

・ 看護師	17 名
・ 准看護師	0 名
・ 介護福祉士	6 名
・ 介護職	2 名

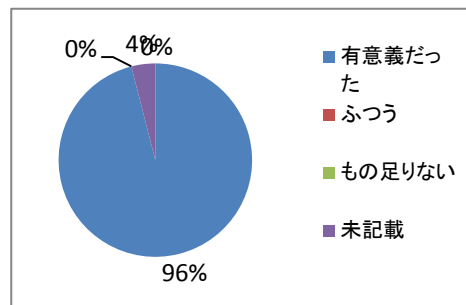
集計日 : 平成26年9月25日

集計枚数 : 25 枚

1. 研修について

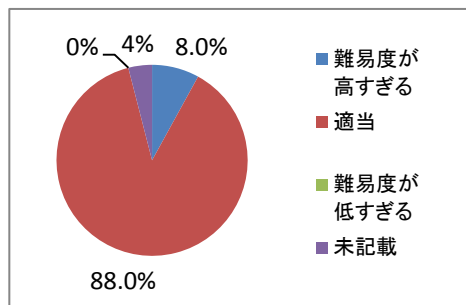
① 研修内容

・ 有意義だった	24 名	96%
・ ふつう	0 名	0%
・ もの足りない	0 名	0%
・ 未記載	1 名	4%



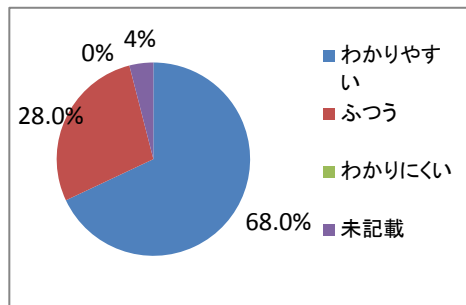
② 難易度

・ 難易度が高すぎる	2 名	8.0%
・ 適当	22 名	88.0%
・ 難易度が低すぎる	0 名	0%
・ 未記載	1 名	4%



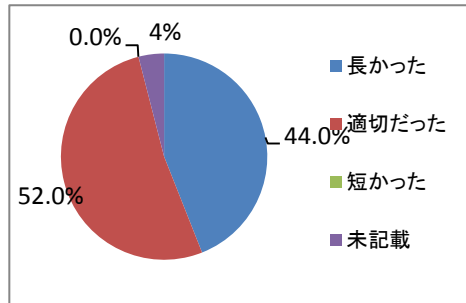
③ 教材・資料

・ わかりやすい	17 名	68.0%
・ ふつう	7 名	28.0%
・ わかりにくい	0 名	0%
・ 未記載	1 名	4%



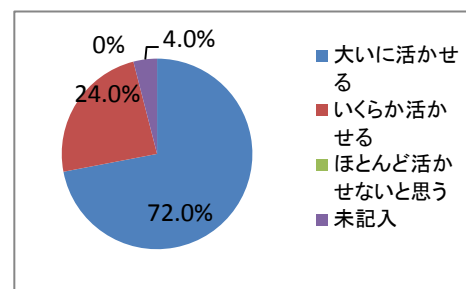
④ 時間

・ 長かった	11 名	44.0%
・ 適切だった	13 名	52.0%
・ 短かった	0 名	0.0%
・ 未記載	1 名	4%



2. 研修内容は今後に活かせるか

① 大いに活かせる	18名	72.0%
② いくらか活かせる	6名	24.0%
③ ほとんど活かさないと思う	0名	0%
④ 未記入	1名	4.0%



①「大いに活かせる」を選んだ人の具体的活用方法

- ・ 感染対策の考え方がわかった。基本的な対応に加え、ケアの内容や患者のADLを考慮する事を改めて学んだ。
- ・ 感染マニュアルの作成
- ・ 具体例があったので、同様なケースは活かせると思う。
- ・ インフルエンザの病態、迅速キットの取り扱い(12以上発症から経過した方が感度がよい) 排泄の取り扱い。(同じ容器で行っていたので、取り扱いを見直す必要があると感じた)
- ・ 感染対策を習慣的に行えるよう活かしていきます。
- ・ 感染経路や、その対処、対応の仕方を学び、全てにおいて、その通りではなく、状況にもよるが、基本の事を学べたので、今後施設で発症した場合の仕方として活かしていきたい。
- ・ 介護士としてできること、すべきことの基本が学べた。今後職場で実践できると感じた。
- ・ PPEの選択、消毒方法が分かった。消毒薬について知識を得られた。
- ・ MRSA患者も多く、保菌している状態と発症している場合の違いを改めて学ぶ事ができるので、今後自分がどのように対応していけば良いのか、明らかになった。
- ・ これからインフルエンザの流行時期となる。集団感染を防ぐためにも、今回学んだ事を活かし、他職員の協力を得て行っていきたいと考える。又、感染対策委員会に所属しており、感染に対する情報を提供していく。
- ・ この研修を機に感染対策委員を任されたので、自分の知らなかった部分を、又、曖昧にしていた部分があるので、病棟に帰ったら役立てたい。
- ・ 実際に行っているのでは、維持できるように自分がまずやること、伝え続けるしつこさを持っていきたい。
- ・ まだ、病院内での感染マニュアルが完全ではなく、職員や病棟内でも徹底されていない為、今後活かせると思う。
- ・ 活かせるとは、思うが、実際は時間が足りてなかったり、物品が揃っていなかったりもするので、活かせてない部分もあると思います。
- ・ ワークの間違った所を見直し、正しい知識にすることができる。その知識を病棟スタッフへ伝える。
- ・ 病原体と感染経路を復習できた。間違っていることがあったので、直したい。

②「いくらか活かせる」を選んだ人の理由・具体的活用方法

- ・ 自分自身が今回、曖昧であったと気づく事も多く、又、しっかり習得しきれていない部分があるので、振り返り、自己学習して確実なものにしたい。その上で、日々の看護ケアに活かし、病棟スタッフにも広げていければと思う。
- ・ 病棟へ発信して、浸透できるようにしたい。自分にまだ発信力が足りないが、少しずつ皆に知ってもらいたい。
- ・ 新しい知識を得たので、今まで行ってきたことを振り返り、誤りは直していきたいと思います。
- ・ マスク、手袋の着用、それぞれの病原菌についてスタッフに話していこうと思う。

- ・ スタッフに全てを伝えるのではなく、優先順位(自分の病棟の特徴を考慮して)指導していく必要がある。
- ・ 施設と在宅は違うので、全てが活かせるわけではないが、防護具や消毒薬、消毒の仕方、使用ポイントなどがわかりました。

④未記入の方のコメント

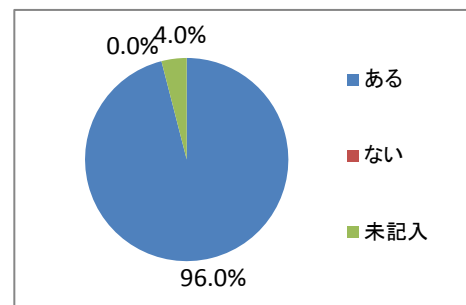
- ・ 感染防護時、処理時、何がどのように広がるのかの経路を考えると必要防護具が分かる。

3. 事前課題に記載した問題や疑問に対しての解決及び理解について

- ・ 事前アンケートに対しての応答を他の参加者のも加え、資料として配布して頂き、参考になります。
- ・ ケアの際、毎回手洗いは、行えない場合は、防護具を使用し、アルコール消毒を行う事で、感染予防を行うことが可能だと理解できた。感染のリスクが高い病原体には、手洗いは必ず行いたいと思う。
- ・ 感染に対する隔離の有無や感染対応を理解出来た。消毒方法についても細かい事(スポンジや乾燥方法など)まで、説明があったので、病院の対応に繋げて行けると思った。
- ・ 理解できました。在宅での手技のため、基本は、主治医の指示に従います。
- ・ 周知徹底をしていきたい。
- ・ QuestionとAnswerでわかれている資料が分かりやすいです。
- ・ 感染は、その時その時のケースがあるため、随時対応していくしかないと思った。
- ・ 理解することができた。集団感染が発生したらどうなるのかを皆で考え、感染対策に取り組んでいく。
- ・ 老健施設で利用者様に対する手指衛生でなかなか徹底できないことがあるが、感染対策予防で最も重要なことの再認識とハード面での工夫を行い、徹底していきたいと思った。
- ・ 丁寧に回答して戴きまして、ありがとうございました。
- ・ 疑問と思っていた部分に丁寧に答えて下さって、とても分かりやすかった。
- ・ 疑問に思っていた事がやはり間違いであった事を知りました。対応策もありがとうございます。早速病院へ戻って報告、相談していきたいと思えます。
- ・ 細かい部分・・・たとえば病室での介助時はプロテクトしているが、その後、汚物を処理する際は、手袋程度の軽処置になってしまう等が職員によって統一できていない。
- ・ 自分が疑問に思っている事は、他の参加者も疑問に思っている事でもあるとわかったので、強く疑問に思っていた事以外にもクリアになったことが多かったです。
- ・ 理解できました。どこから何が出ていて、何が必要かを考える事がまず第一であることを学びました。
- ・ 根気よく発信し続けていきたい。興味の持ちにくい内容では、なかなか普及しないので、スタッフが受け入れやすいように勉強会の工夫もしたい。
- ・ 自分で出した疑問については、理解できました。他の質問では、用語が難しく感じるものがありました。
- ・ 通所の為、ご利用者様の自宅での様子が見えにくく、家族ごとの考えが異なるため、対策をどうしたら良いのかと思いました。
- ・ 皆への周知徹底を根拠づけて、説明できそうです。

4. 第1回研修終了後に取り組んだこと

① ある	24名	96.0%
② ない	0名	0.0%
③ 未記入	1名	4.0%



①「ある」と答えた方の取り組み内容

- ・石けんを用いた流水手洗いと必要時ウェルフォームの使用。その場面や状況に応じた防護具の使用。
- ・病棟会でサーフローや採血時の手袋の必要性についてやる予定なので、本日学んだ事も合せてお話ししたいと思います。
- ・現場での対応について、誤った対応を訂正、周知していききたいと思います。
- ・事前アンケートの件を報告し、相談します。病棟の状況を確認してみます。
- ・今、行っていることを継続すること。
- ・防護具の選択についての考え方がわかったので、他スタッフにも伝えていききたいと思います。
- ・流し台にタオルを置いている為、禁止していく。
- ・スタッフへの周知徹底を行っていききたい。
- ・感染対策として患者さんに対して自分がどのような対策(エプロン・マスクなど)をとったら良いのか、自己にて判断できるようになったと思うので、実践で活かしていきたい。
- ・マニュアル作成、スタッフ間の勉強会
- ・今日学んだ事を病棟スタッフに伝えながら、一緒に現場での応用を考えたいです。
- ・手指衛生の徹底。職員の認識度の向上、利用者様の誘導アプローチを確実に行っていく。
- ・ノロウィルスのデモを予定しているので、必要PPEなど確認、伝達していけると思う。
- ・施設の機能と感染対策を合わせて考える事を学んだので、頭に入れながら、日々のケアの中で感染対策を行っていききたいと思います。
- ・保菌者として利用者に接しないように注意する。感染対策を習慣づけられるようにまず自分から。
- ・ルートを切って、分別しない。
- ・マスクは、常に装着を義務づけられているので、使用しているが、エプロンや手袋は必要な時も装着しない事もあり、気をつけていきたい。
- ・感染対策(消毒方法や防護方法)の見直しを行う。
- ・日々の手洗い、消毒を自分ですること、また、周りへの声かけ。
- ・PPEを正しく選択する。ノロウィルス、インフルエンザ対策→職員の間で拵げない。
- ・MRSAの患者様とHVC患者様がいたので役立たせたい。
- ・環境清掃のポイント、高頻度接触面のポイントを皆に伝えていききたいと思います。

5. 感想・意見など

- ・実際にその場にならないとよくわからないと思うが、慌てず、まだ研修を受けていない特に介護職員に教えられる様になりたいと思う。
- ・とてもわかりやすく、Workもあったので、考えながら学ぶ事ができました。ありがとうございました。
- ・入職してから感染について学ぶ機会が無かったので、良い機会となりました。ただ、介護からみると例題等、分からないものもあり、難しいと感じました。

- ・ 感染予防対策の基本を改めて学べ、インフルエンザ流行時期に向けて、本日の研修が職場で活かせるようにするつもりです。ありがとうございました。
- ・ 曖昧な部分が今回の研修で理解できました。途中質問形式の問題と解いたり理解が深まりとてもよかったです。
- ・ 認知症の患者さんの保清が本当に困難であり、失禁や放便、放尿への対応についても知りたいと思いました。
- ・ わかり易かったです。ありがとうございました。
- ・ 知らなかったことや勘違いしていた事もあり、学ぶ事ができて良かったです。ありがとうございました。
- ・ これからの季節に必要な感染対策を習慣化できるように、曖昧なままではなく、確実にし、伝えていきたいと思います。
- ・ グループワークや体験もありすごくわかり易かったです。ありがとうございました。
- ・ 内容、説明がわかりやすく、理解しやすかったです。
- ・ 時間が長すぎるのとやる事が多く、頭がまわらなかった。グループでの意味はあったのか？
(テーブルの位置)
- ・ シャトルバスに乗りたかった。